



PM パッド

ぴーえむぱど

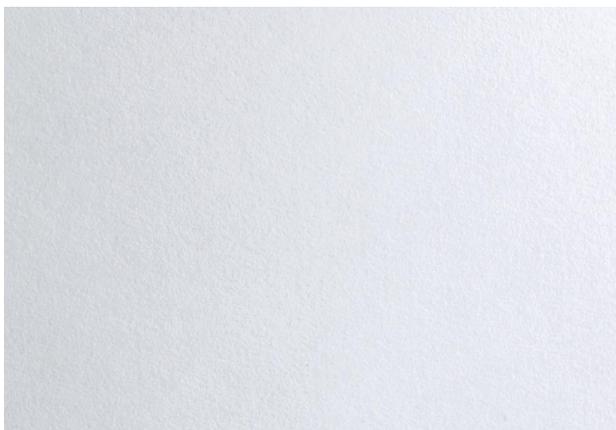
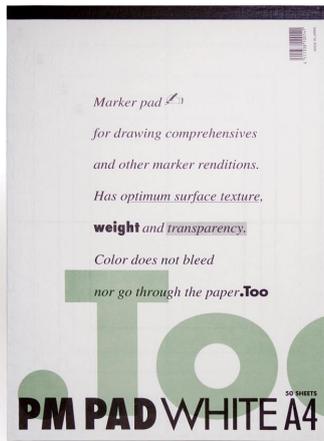


写真1. PMパッド (拡大写真)

※写真中の紙色は、実際とは異なる場合があります。

概要

PMパッドは、デザイン・レイアウト作業で多く使用される紙です。およそコピー用紙程度の厚さを持っています。PMパッドの名称は、パステル (Pastel) とマーカー (Marker) に由来しますが、パステルとマーカー以外の筆記具や描画材も広く使用できます。マーカーが滲 (にじ) みにくいという特長から、プロダクトデザインにおけるレンダリングや、イラストレーションで使用される機会が多い用紙ですが、鉛筆の乗りもよく、スケッチなどにも使用できます。

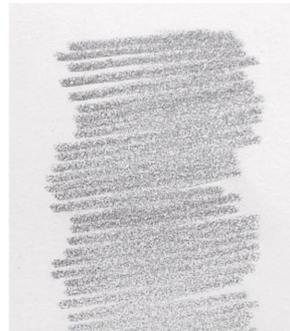
かつてレンダリングでは、厚口のトレーシングペーパーやベラム紙などが多く使われていましたが、時折マーカーのインクをはじいたり、こすれて汚したりすることがありました。この点PMパッドは、マーカーをしっかりと吸収し、早く乾くため、短時間での作業が可能になりました。また透過性も高く、重ね描きやグラデーションなどの多様な表現に対応でき、利便性が高く効率的なデザイン作業ができるようになりました。

PMパッドの用紙サイズは、A判・B判の寸法規格よりも少し大きく、余白部分を持てるようにできています。ですからコピー機で使用するには、寸法規格どおりにカットされている、コピー機用のPMパッド (PM COPY) を使用します。例えばプロダクトデザインでは、アイデア展開をする時、コピックなどのマーカーでアウトラインを描き、「PM COPY」でコピーをとり、これを基にアイデアスケッチをどんどん描きこんでいけば、短時間で多くのバリエーション展開ができます。なお、旧タイプのマーカーでは、コピーのトナーを溶かしてしまうことがありましたが、その欠点を改善したのが、アルコールを基材にした「コピック」です。コピックはコピーのトナーを溶かすことがなく、このコピックの開発によって、PMパッドの利用度はさらに高まりました。PMパッドは、紙の一端を糊でつづった状態で販売されていて、紙色はホワイト (純白) とナチュラル (自然な白色) があります。用紙は、表と裏の質感が違っており、基本的に表側を使います。(購入時、表紙と同じ方向を向いているのが表です。) PMパッドは、画材店などで購入することができます。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O
P
Q
R
S
T
U
V
W
X
Y
Z
数字



写真2. PMパッドは、マーカーでの重ね描きなどに適しています。



鉛筆



透明水彩



コンテ



墨汁



ペンインク



パステル



インクジェット

写真3. PMパッドにおける描画例（拡大写真）

※描画例（写真）は、用紙の特性や表現の可能性を示すためのテストサンプルであり、特定の描画材の使用を薦めているものではありません。（一般的には適していないとされる描画材もあえて使用しています。）

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O
P
Q
R
S
T
U
V
W
X
Y
Z
数字